

日本脈管学会 会員の皆様へ

6月開催のWEB弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター講習会の予定が日本静脈学会HPに公開されましたのでご案内申し上げます (https://js-phlebology.jp/?page_id=461)。本講習会は新たに2020年4月より保険収載となった“慢性静脈不全症に対する静脈圧迫処置”の算定に必須の講習会です (<https://js-phlebology.jp/?p=3177>) (<https://js-phlebology.jp/?p=3244>)。

是非、看護師さんとともにご参会いただければ幸いです。

日本フットケア・足病医学会認定師（フットケア指導師にはございません）、皮膚・排泄ケア認定看護師、リンパ浮腫療法士、リンパ浮腫保険診療医、リンパ浮腫保険診療士の資格を取得されている方には資格要件に特例がございます。ご参照ください (<https://js-phlebology.jp/?p=3244>)。

“弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWEB講習会（フルバージョン）”

および

“弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWEB講習会 静脈圧迫処置追加講習会”

のお知らせ

弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWEB講習会、及び、弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター 静脈圧迫処置追加WEB講習会を下記の日程にて開催いたします。

日時：2021年6月1日（火）～2021年6月18日（木）

現在申し込みを下記で行っております。

<https://us-lead.com/ssce/210601web/index.html>

●以下“弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター”詳細です。

2020年4月から慢性静脈不全に対する静脈圧迫処置が診療報酬として算定できるようになりました。その施設基準を得るためには、医師および看護師がそれぞれ所定の研修を修了しなければなりません。その研修は、現時点では日本静脈学会が開催する圧迫療法に関する認定講習会とされており（参考；理事・事務局より令和2年度保険点数改訂についてJ001-10静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの））。

当委員会では、これに対応するため、講習会の内容および講習時間を増やし、名称を「弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター講習会」（5時間）へ変更しました。また、従来の「弾性ストッキング・コンダクター」の資格を有する方を対象として、慢性静脈不全による静脈性

潰瘍に関する講義と実技実習を主体とした「静脈圧迫処置追加講習会」(90 分間)も開催いたします。これに伴い委員会名は「弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター養成委員会」、認定資格を「弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター」とそれぞれ改称しております。なお従来の「弾性ストッキング・コンダクター」の認定資格のみでは静脈圧迫処置の所定の研修を修了したことにはならず、保険算定は認められません(<https://js-phlebology.jp/?p=3244>)

はじめて資格取をとられる方、あるいは期限切れの方は“弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWEB講習会 (フルバージョン)”を受講ください。

弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWEB講習会 静脈圧迫処置追加講習会”は、弾性ストッキング・コンダクター認定者(有効期限内)あるいは2019年1月以降に弾性ストッキング・コンダクター講習会を受講したがまだ認定されていない方が、重複して同じ講習を受けなくて済むように作成された講習会です。受講することにより保険算定の条件である弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターの認定あるいはその準備のための講習会受講証明が得られます。なお、詳しい保険算定の条件などについては <https://js-phlebology.jp/?p=3244>をご覧ください。

静脈圧迫処置追加講習会は上記の資格条件に当てはまらない方が、受講しても受講証、認定証は発行できませんのでお間違えのないようお願いいたします。資格のない方は、弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWEB講習会 (フルバージョン) を受講ください。

お申込みは URL : https://js-phlebology.jp/?page_id=461 に記載の TOP ページ⇒各種講習会・セミナーページのページからお願いいたします。

追伸：多くの同様の質問がきております。静脈圧迫処置、保険、条件詳細、手続きについて <https://js-phlebology.jp/?p=3244> をご覧いただくか、御自分の病院事務にお問い合わせください。

日本静脈学会 弾性ストッキング圧迫療法コンダクター養成委員長 孟 真